

思いやりの「わ」が広がることを願って

「小さな親切」運動では、お年寄りや体の不自由な方々の社会参加を願い、1999年より『地域の輪・和・環プロジェクト』と名付けた車椅子寄贈運動を行っています。車椅子は長年使用すると経年劣化してしまうので、継続的な活動は病院や福祉施設から大変喜ばれています。



贈呈式の様子（「チアフル遠見塚」にて）

宮城県本部（事務局：七十七銀行）は今年度、福祉施設2カ所へリクライニング型の車椅子を寄贈。これまでの寄贈台数は130台を超えました。寄贈先の一つ、「特別養護老人ホーム白東苑」では窓ふきなどの清掃も行い、利用者や施設の方に大変喜ばれました。

北海道本部 （事務局：北海道電力株）



札幌市社会福祉協議会を通じ、福祉施設へ車椅子2台、シャワーキャリー2台を寄贈

青森県本部 （事務局：青森銀行（現・青森みちのく銀行））



黒石市及び野辺地町へ寄贈（写真は野辺地町）

全国の贈呈式 紹介

福島県本部 （事務局：東邦銀行）



福島県社会福祉協議会を通じ、県内2カ所の福祉施設へ寄贈

愛媛県本部 （事務局：伊予銀行）



上島町社会福祉協議会へ車椅子2台を寄贈